



フードバンクかながわの設立目的 (モットー・キーワード)

「もったいない」を

《食品ロスを減らし、食べ物の価値を活かす》

「分かち合い」~

《フードバンクを通じて、地域のたすけあい・支え合いを実現》

「ありがとう」へ

《生活に困っている人・社会的に弱い立場にある人々の
食のセーフティーネットをめざす》



フードバンクかながわの現状

2021年9月20日現在

- 正会員団体 11団体:306口(1口5万円)
- 賛助会員入会状況
 - (1) 団体会員 195(団体):632口(1口1万円)
 - (2) 個人会員 279名: 1,376口(1口千円)
- 寄付金(累計)
47団体93名 43,348,418円(2021年度:7,213,321円)
- 合意書締結状況
 - (1) 食品寄贈事業者 195社(団体)
 - (2) 食品受取(行政・社協) 56団体
 - (3) 食品受取団体 197団体

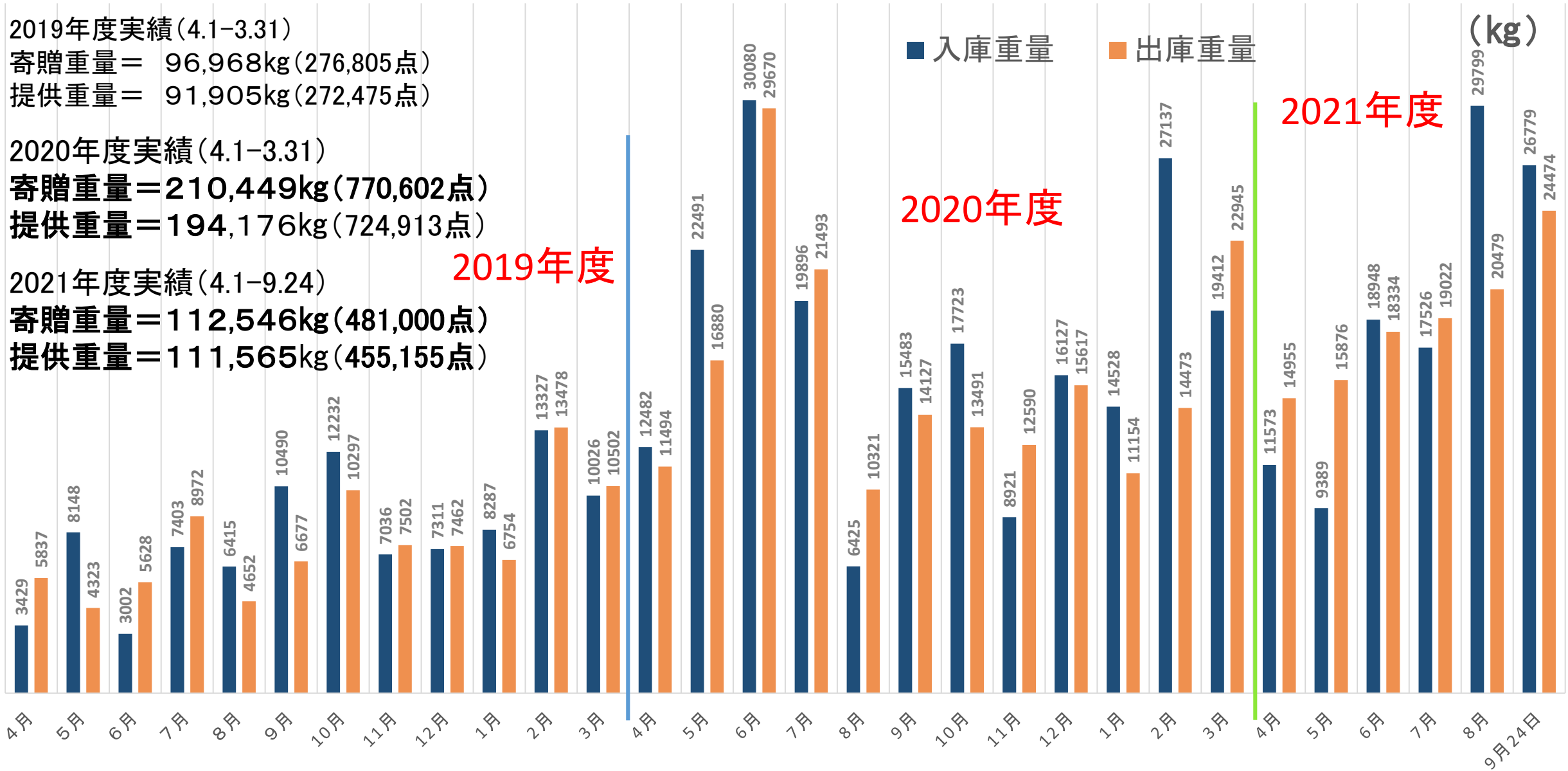
2019.4.1～2021.9.24の寄贈量と提供量

2018年度実績(4.1-3.31)
 寄贈重量 = 46,394kg(286,391点)
 提供重量 = 39,781kg(246,601点)

2019年度実績(4.1-3.31)
 寄贈重量 = 96,968kg(276,805点)
 提供重量 = 91,905kg(272,475点)

2020年度実績(4.1-3.31)
 寄贈重量 = 210,449kg(770,602点)
 提供重量 = 194,176kg(724,913点)

2021年度実績(4.1-9.24)
 寄贈重量 = 112,546kg(481,000点)
 提供重量 = 111,565kg(455,155点)



主な寄贈食品の内訳(2021.9.24現在)

	【2019年度】	【2020年度】	【2021年度4.1-9.24】
• 個人寄贈(フードドライブ)	15,963kg	43,839kg	33,246kg
• 防災備蓄品	21,654kg	44,416kg	26,759kg
• お米(精米、玄米、もち米)	21,950kg	49,696kg	35,328kg
• 協同組合関係	31,330kg	52,520kg	27,505kg
• その他の事業者	20,822kg	66,565kg	16,086kg

※米及び防災品の一部は重複掲載

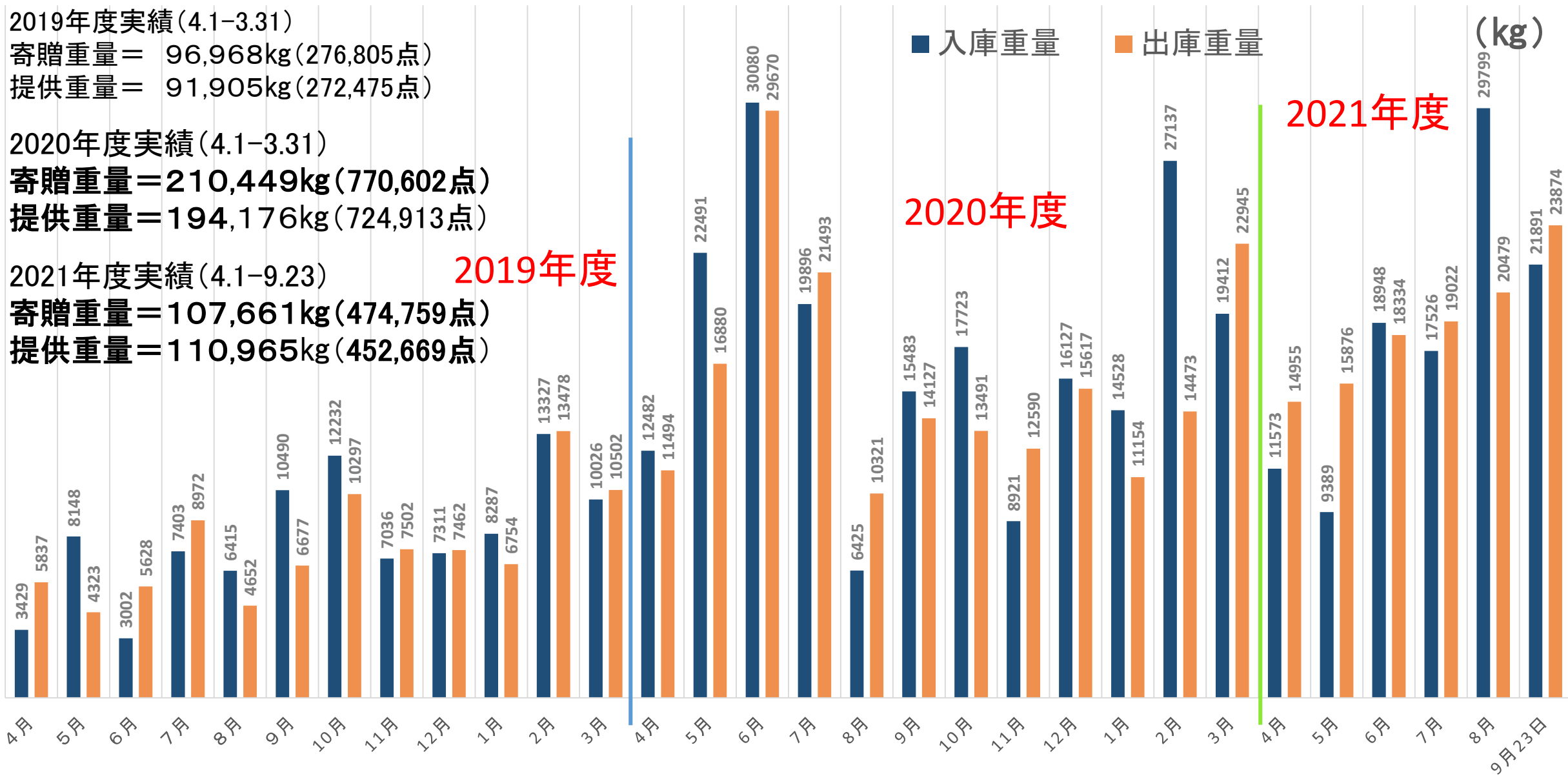
2018年度実績(4.1-3.31)
 寄贈重量 = 46,394kg(286,391点)
 提供重量 = 39,781kg(246,601点)

2019.4.1~2021.9.23の寄贈量と提供量

2019年度実績(4.1-3.31)
 寄贈重量 = 96,968kg(276,805点)
 提供重量 = 91,905kg(272,475点)

2020年度実績(4.1-3.31)
 寄贈重量 = 210,449kg(770,602点)
 提供重量 = 194,176kg(724,913点)

2021年度実績(4.1-9.23)
 寄贈重量 = 107,661kg(474,759点)
 提供重量 = 110,965kg(452,669点)



主な寄贈食品の内訳(2021.9.23現在)

	【2019年度】	【2020年度】	【2021年度4.1-9.20】
• 個人寄贈(フードドライブ)	15,963kg	43,839kg	28,671kg
• 防災備蓄品	21,654kg	44,416kg	26,759kg
• お米(精米、玄米、もち米)	21,950kg	49,696kg	35,140kg
• 協同組合関係	31,330kg	52,520kg	26,737kg
• その他の事業者	20,822kg	66,565kg	16,086kg

※米及び防災品の一部は重複掲載





横浜市立大学

くろーばーマーケット(来店型フードバンク)
byさくらんぼ



地域フードバンクの1つでもある「お福分けの会」(横浜市瀬谷区)では、ひとり親家庭を中心に約90世帯300名)に毎週食支援を行っています。

配布場所は現在12か所で、世帯構成にあわせて箱詰め、仕分け作業は、利用者のみなさんも一緒に行っています。

ありがとうの声

お米を頂けるようになってから、炊飯器の中にご飯がある状態になりました。子どもはそれがうれしくて、しょっちゅう炊飯器を開けて確認しています。子どもの笑顔も見れるようになりました。ありがとうございました

いろいろな食べ物を頂けているので、食べ物のレパートリーが増えました。子どもも毎回「これ何？」と聞きながら食べています。学校で恥ずかしい思いをすることも少なくなってきたようです。

子どもに朝ご飯を食べさせることができるようになりました。それまでは朝は食べずに、給食まで我慢していました。ありがとうございました。

中学生の子どもにおにぎりだけですが、お昼ごはんを持たせてあげられるようになりました。それまでは保健室に行ったりトイレに行ったりとしていたそうです。子どもも毎日嬉しそうに学校に行くようになりました。

果物や野菜など新鮮な物を頂くことが出来ています。特に果物やお菓子などは買うこともできないのでとてもありがたいとおもっています。

運動会の際にお弁当を作ってもっていきました。いつもより多いおにぎりやおかず子ども達は大喜びでした。私も楽しい時間を過ごせました。

ごはんを食べさせることができるようになり、子どもが少しですがふっくらとしてきて子どもらしくなってきました。とてもうれしい出来事です。

学生からの**ありがとう**の声

●アルバイトの時間も短縮され、お金がなく厳しい状況の中でこのような支援はとてもありがたいと思った。地域の方々に支えられて、学生生活を送っていることを忘れないようにしたいと思いました。

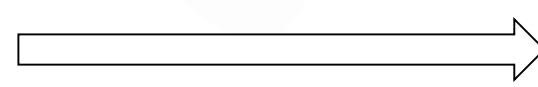
●寄付祖下さり、ありがとうございました。学生のひとり暮らし活コロナの影響で、バイトが全然できていない状況でした。大切に食べさせて頂きます。

●今回初めて参加して、ひとり暮らしなので、たくさんの食べ物を頂きとても助かりました。
とてもうれしかったです。次は自分が社会に貢献できるように頑張りたいと思います。

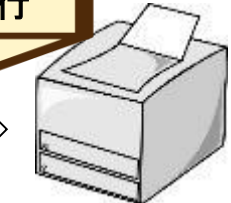
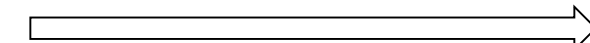


入 出 庫 処 理 の 流 れ (トレーサビリティ確保のために)

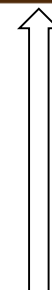
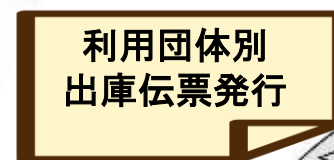
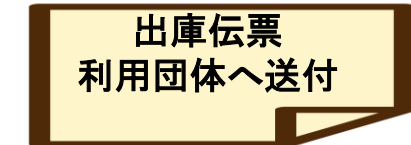
入庫



QRコードラベル発行



出庫



入庫処理

1. ハンディで商品バーコード、消味期限をスキャンし、数量を入力
2. カイゼンヘデータを送信、プリンタよりロット番号ラベル発行
3. 商品へロット番号ラベルを貼り付け入庫
4. 商品マスタに未登録の場合、後追いでマスタ登録を行う

出庫処理

1. ハンディでロット番号ラベルのバーコードをスキャン、出庫数量を入力
2. カイゼンとロット番号・出庫数量をチェックし、チェックOKの場合、利用団体別の出庫伝票を発行 (PDF⇒メール添付送付)
3. ◆利用団体は、FB倉庫受取時に「出庫伝票」に受取サイン
◆「中継拠点」では、受取(入館)証明書とする⇒団体保管場所にて検品後、受取サインし、フードバンクへFAX又はメール送信